

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

また、この度の熊本地方を中心とした大規模な地震により、被災された皆様にご心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早く日常を取り戻されることをお祈りいたします。キッツグループは、商品・サービスを継続的に提供することが企業としての最大の使命であると考えております。暮らしや産業に欠かすことのできない、ライフラインを支えるバルブの供給を通して、被災地域の復興のお役に立てることを願っております。

キッツグループは、この度、2018年度を最終年度とする第3期中期経営計画を策定いたしました。原油価格の低迷、中国の景気停滞によるアジア新興国や資源国経済の減速、アメリカの金融政策の情勢など、先行き不透明な状況が継続することが予想されますが、強みが生かせる重点市場分野に経営資源を集中する一方、さらなる生産性の向上に取り組むことなどにより、グループを挙げて計画の達成を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2016年 6月
代表取締役社長 堀田 康之

KITZ

エミール・ガレ
花瓶《地質学の女神》

制作年：1889年頃
高 さ：24.8cm

青と黒のまだら模様が入った透明ガラス地に、銘文や化石、植物が刻まれている。中央のアンモナイトの中には、「GEOLOGIA」（地質学）の文字とともに手彫りされた女神の顔が見える。高級調度品店エスカリエ・ド・クリスタルに納められた作品。同店特製ブロンズ製の金具が華やかさを醸し出す。繊細でバリエーション豊かな彫りの技術が冴える逸品。

北澤美術館所蔵

キッツグループは、2013年に策定した第2期中期経営計画（2013年度～2015年度）が終了することに伴い、新たに第3期中期経営計画（2016年度～2018年度）を策定するとともに長期経営計画の数値目標の見直しを行いました。

当期の業績、第3期中期経営計画及び長期経営計画について堀田社長に伺いました。



代表取締役社長 堀田 康之

当期の連結業績の概況

Q 当期は前期比増収となりました。

A バルブ事業で売上が増加

当期の連結売上高は、前期比2億42百万円増の1,172億78百万円と増収を確保することができました。バルブ事業は、前期比34億27百万円増の935億79百万円となりました。国内市場では、建築設備向けにおける流通在庫調整の影響はありましたが、半導体製造設備向けや工業用フィルターが好調に推移しました。海外市場においても、為替の円安効果の他、新たにインドの子会社（Micro Pneumatics Pvt. Ltd.）の売上加わり増収となりました。

伸銅品事業は材料価格が期を通じて下落したことにより4億63百万円の減収となりました。前期中におけるフィットネス事業の連結離脱に伴い、その他（サービス関連の事業）が27億21百万円の減収となりましたが、バルブ事業の売上増加によりその減収分を補い、連結合計では前期実績を上回ることができました。

Q 営業利益も増益となりました。

A 伸銅品事業、その他（サービス関連の事業）の減少をバルブ事業の増益でカバー

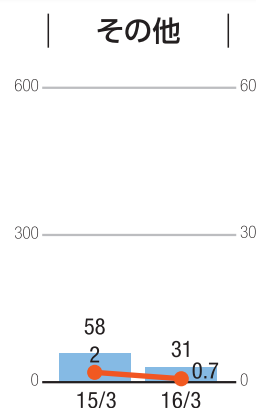
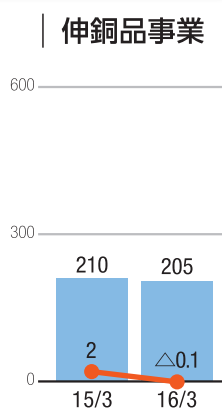
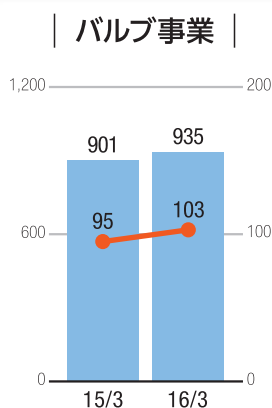
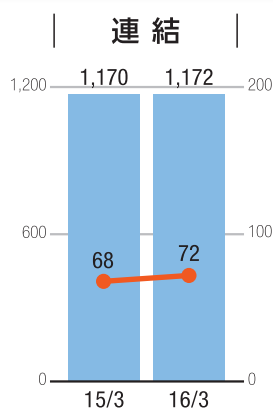
バルブ事業で、半導体製造設備向けでの増収や生産コスト削減の効果があり、システム開発に係るソフトウェア関連費用やM&A関連費用などの一般管理コストが増加したものの、営業利益は8億77百万円増加しました。

一方、伸銅品事業では、銅相場の影響により、2億65百万円の減益、その他（サービス関連の事業）も、前期中におけるフィットネス事業の連結離脱により前期比1億56百万円の減益となりましたが、バルブ事業における増益でカバーしたことにより、連結営業利益は前期比3億58百万円増の72億45百万円と増益を確保しました。

経常利益は為替差益の減少などにより2億80百万円減の73億円、また、親会社株主に帰属する当期純利益は、前期計上したキッツウェルネスの株式譲渡益（21億56百万円）がなくなったことにより19億66百万円減の49億15百万円となりました。

セグメント別売上高・営業利益

（単位：億円）



■ 売上高(左軸) ● 営業利益(右軸)

第2期中期経営計画の総括

Q 第2期中期経営計画の最終年度が終了しました。売上高や利益については、計画に対してどのような状況だったのでしょうか。

A 売上高や利益の数値目標は未達

前期比では増収増益を確保したものの、第2期中期経営計画に対しては、右のグラフの通り、遺憾ながら総じて計画未達で終了しました。最終年度と比較すると、売上高は計画比△257億円(△18.0%)、営業利益は△43億円(△37.5%)となりました。主力であるバルブ事業の売上が計画に対して△178億円(△16.0%)、営業利益は△35億円(△25.6%)と大きく未達となったことが影響しています。

Q バルブ事業が計画を達成できなかった原因をどのように分析されていますか。

A 厳しい市場環境が継続

3年前の計画策定時に想定したほどの実需の回復には至りませんでした。国内の建築設備向けについては、人手不足を主要因として公共工事の入札不調が相次いだ他、着工した物件でもバルブの納入時期が後ろ倒しとなりました。海外では、中国の経済成長率の鈍化の影響が、グローバルレベルでの景気低迷、競争激化及び価格低下を招き、また、原油価格の急落により、エネルギー関連企業の設備投資が大幅に減少するなど、厳しい状況で推移しました。社内においては、目標達成に向けた施策の展開と進捗管理の体制が十分ではなかった部分もあったと反省しています。

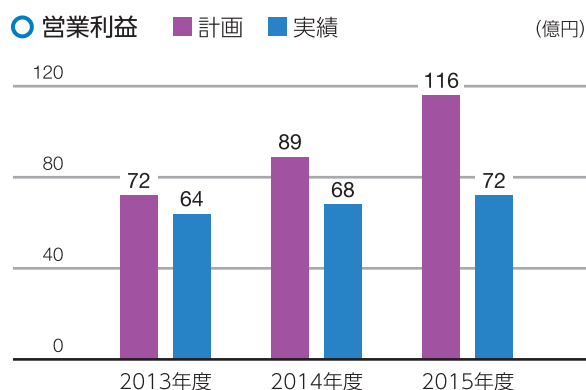
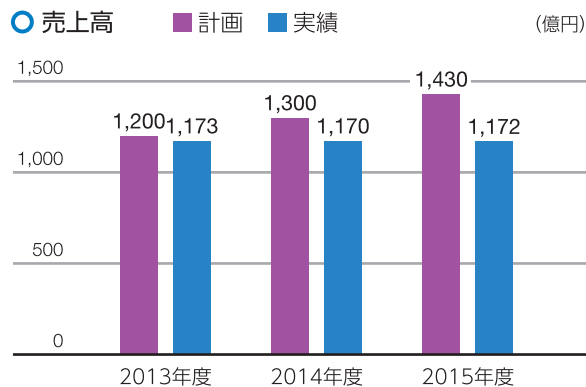
Q 第2期中期経営計画の総括をお願いします。

A 中長期の成長に向けた施策を実行

数値目標については未達となりましたが、キッツウェルネスの株式及びキッツジーアンドアイの保険代理業を外部に売却する一方、Micro Pneumatics Pvt. Ltd.(インド)、Metalúrgica Golden Art's Ltda.(ブラジル)及び北東技研工業を買収するなど、事業再編を積極的に推進しました。また、GIVA Group(イタリア)や東亜バルブエンジニアリング株式会社(東証第二部)とのアライアンスも進めました。さらに、国内工場の材質別生産体制を確立した他、東京支社(営業部門)の千葉市美浜区から東京都中央区日本橋への移転による機能強化も図ることができました。新規分野では水素ステーション用超高压ボールバルブが注目を集め、さらには、陸上養殖プラント市場への参入に向けた準備を進めるなど、中長期の成長への布石は打つことができましたと思っています。

第2期中期経営計画期間の売上高と営業利益

注) グラフ及び表の計画値は2013年に策定した第2期中期経営計画策定時の数値



○ セグメント別売上高 (百万円)

	2015年度計画	2015年度実績
バルブ事業	▶ 111,400	▶ 93,579
伸銅品事業	▶ 21,700	▶ 20,557
その他	▶ 9,900	▶ 3,141
合計	▶ 143,000	▶ 117,278

○ セグメント別営業利益 (百万円)

	2015年度計画	2015年度実績
バルブ事業	▶ 13,950	▶ 10,384
伸銅品事業	▶ 550	▶ △16
その他	▶ 400	▶ 75
調整額	▶ △3,300	▶ △3,197
合計	▶ 11,600	▶ 7,245

第3期中期経営計画

Q 第3期中期経営計画(2016年度～2018年度)の方針を教えてください。

A 新規顧客及び新規市場を開拓

第3期中期経営計画における基本方針は次の通りです。原油価格の低迷や中国・新興国経済の景気低滞は、単年では終わらず長期化すると想定しており、景気拡大による売上拡大はあま

り多くを期待できません。従って、新製品開発や他メーカーとのアライアンスによりラインナップを拡充するとともに、M&Aにも積極的に取り組み、新規顧客及び新規市場を開拓していくことを目指します。

基本方針

1. 強みが生かせる重点市場分野である「建築設備」「石油化学・一般化学」「クリーンエネルギー」に経営資源を集中。新製品投入・設備及び研究開発投資を同分野に集中するとともに、機能別組織を貫く全社横断の戦略推進体制を強化し、重点施策のPDCAを回す。
2. グローバル調達・内製化・生産性向上によりコスト改善。利益を生む設備投資を積極的に実施するとともに、業務改革・無駄の排除により、利益とキャッシュ・フロー重視の方針を徹底し、ROEを向上させる。
3. 上記により、2018年度に営業利益100億円以上、2020年度に過去最高益を目指す。
4. 株主還元の充実として、現金配当による目標連結配当性向25%に加え、自己株式の取得にも積極的に取り組み、株主価値の一層の向上を図る。

Q 具体的な解説をお願いします。

A 戦略の3本柱を確実に実践

下記を戦略の3本の柱として、計画達成に向けて取り組んでまいります。

戦略の3本柱

1. 重点市場分野と重点地域を絞り込み、特化した新製品投入と複合機能化の推進により、シェアの拡大を目指す。
 - ①重点市場分野：「建築設備」「石油化学・一般化学」「クリーンエネルギー（水素、LNG）」
 - ②重点地域：日本+3極2拠点^{*1}(特にアセアン、米州)に絞り、複合機能化を推進する。

^{*1} 3極：欧州・米州・アセアン、2拠点：中国・インド
2. 縦(機能別組織)と横(全社横断組織)のマトリックス体制により、「組織」のマネジメントと「製品」のマネジメントの両輪を強化し、事業戦略を推進する。
 - ①組織のマネジメント：事業企画部の機能及び権限強化により、既存組織の重点施策の進捗管理とPDCAの徹底を図る。
 - ②製品のマネジメント：プロダクトマネジメントセンターを新設し、重点市場分野の徹底したマーケティングにより、戦略に基づいた必要な製品群を一気通貫で適時・迅速に投入し、プロダクトマネジメントを実践。
3. 既存のリソースを無駄なく徹底的に活用し、グローバルで戦えるコストを実現することで、さらなる売上利益拡大につなげる。
 - ①生産本部を主体にコスト改善推進体制を強化し、グローバル調達・内製化・生産性向上により、コストの大幅な改善を目指す。
 - ②エンジニアリングセンターを新設し、特注品の採算向上を図る。

第3期中期経営計画(2016年度～2018年度)の数値目標

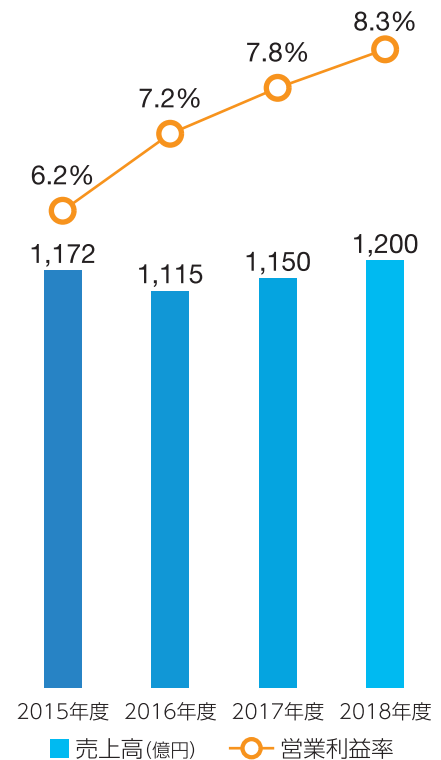
	2015年度実績	2016年度計画	2017年度計画	2018年度計画
売上高	▶ 1,172億円	▶ 1,115億円	▶ 1,150億円	▶ 1,200億円
営業利益	▶ 72億円	▶ 80億円	▶ 90億円	▶ 100億円
経常利益	▶ 73億円	▶ 77億円	▶ 87億円	▶ 97億円
親会社株主に 帰属する当期純利益	▶ 49億円	▶ 50億円	▶ 57億円	▶ 63億円
営業利益率	▶ 6.2%	▶ 7.2%	▶ 7.8%	▶ 8.3%
海外売上高比率	▶ 31.7%	▶ 31.8%	▶ 32.7%	▶ 34.2%
ROE	▶ 6.6%	▶ 6.6%	▶ 7.2%	▶ 7.7%
自己資本比率	▶ 62.9%	▶ 63.9%	▶ 64.7%	▶ 64.0%

○ セグメント別売上高

バルブ事業	▶ 935億円	▶ 920億円	▶ 950億円	▶ 1,000億円
伸銅品事業	▶ 205億円	▶ 164億円	▶ 165億円	▶ 165億円
その他	▶ 31億円	▶ 31億円	▶ 35億円	▶ 35億円

○ セグメント別営業利益

バルブ事業	▶ 103億円	▶ 110億円	▶ 119億円	▶ 131億円
伸銅品事業	▶ △0.1億円	▶ 2億円	▶ 3億円	▶ 1億円
その他	▶ 0.7億円	▶ 1億円	▶ 1億円	▶ 1億円



長期経営計画の見直し

Q 長期経営計画「KITZ Global Vision 2020」の最終年度(2020年度)までの折り返しとなります。

A 長期経営計画の数値目標を見直し

長期経営計画「KITZ Global Vision 2020」については、2010年に策定し、リーマンショック後の経済回復を期待して業容の拡大を掲げ、その達成に向けての施策を展開してまいりました。しかしながら、その後の経営環境については、中国経済の成長率鈍化の影響が中国国内にとどまらず、新興国経済にも大きな影響を及ぼしている一方、原油価格の下落により、エネルギー関連企業の設備投資が抑制されている状況にあります。日本国内においても、建築設備向けに東京オリンピック・パラリンピック需要は見込まれるものの、世界経済の低迷で企業業績の見通しは不透明であり、積極的な設備投資を控えている現

状です。これらを踏まえ、今後の業績について楽観的に見込むことは極めて難しいと判断し、規模の拡大から確実な利益成長へとその方向を転換しました。

第3期中期経営計画の達成と、新たに定めた2020年度のターゲットに向かって、グループを挙げて取り組んでまいります。

Q 最後に、株主の皆様メッセージをお願いします。

A 企業価値の向上を目指して

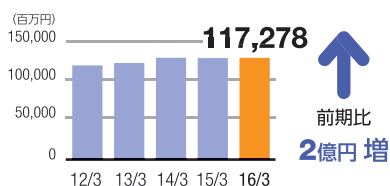
当期末の配当金につきましては、当初公表の通り1株につき7円とさせていただきます。中間配当として6円の配当を実施しておりますので、年間配当額は1株当たり13円(前期と同額)となりました。また、配当金に加えて、株主様への利益還元として、昨年に引き続き、100万株の自己株式の取得を実施するとともに、保有する自己株式のうち1,000万株を消却いたしました。この度の第3期中期経営計画策定にあたり、連結総還元性向の目標を従来の3分の1前後から、自己株式の取得にさらに積極的に取り組み、株主価値のより一層の向上に努めてまいります。

今後も、企業価値の持続的な向上を目指し、ゆたかな社会づくりに貢献してまいりますので、株主の皆様におかれましては、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

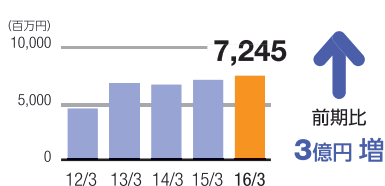
	2020年度計画	
	修正後	修正前
売上高	▶ 1,350億円	▶ 2,500億円
営業利益	▶ 125億円	▶ 200億円
営業利益率	▶ 9.3%	▶ 8.0%
海外売上高比率	▶ 37.7%	▶ 50.0%
ROE	▶ 9.0%	▶ 7.0%
自己資本比率	▶ 62.9%	▶ 70.0%

主要連結財務指標

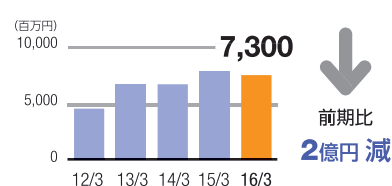
売上高



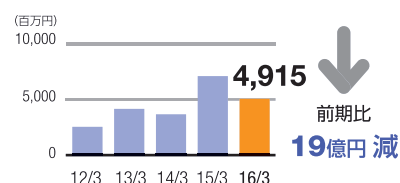
営業利益



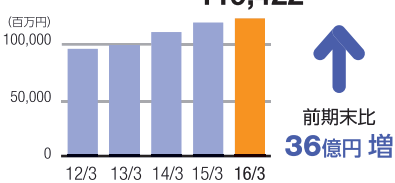
経常利益



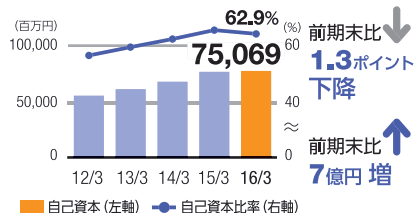
親会社株主に帰属する当期純利益



総資産

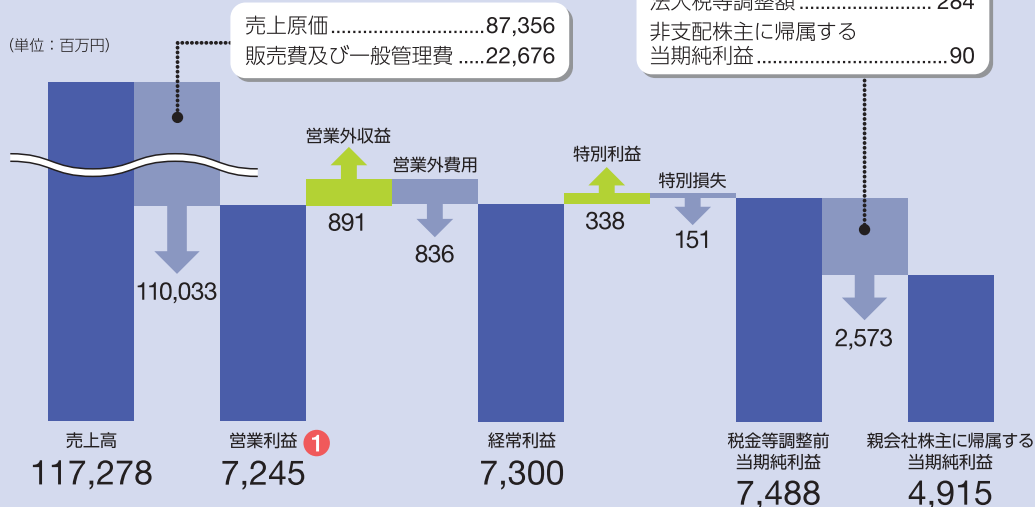


自己資本・自己資本比率



連結損益計算書の概要

当期 (2015年4月1日～2016年3月31日)



Point ①

営業利益 7,245百万円

パルプ事業において、半導体製造設備向けの増収やタイ他海外製造子会社における収益改善により、一般管理コストの増加はあったものの、前期比5.2%の増益となりました。

Point ②

総資産 119,422百万円

売上債権が減少しましたが、M&Aにより新たに2社が連結加入したことなどに伴い有形固定資産やのれんを含む無形固定資産が増加し、前期末に比べ36億32百万円増加しました。

Point ③

負債 43,325百万円

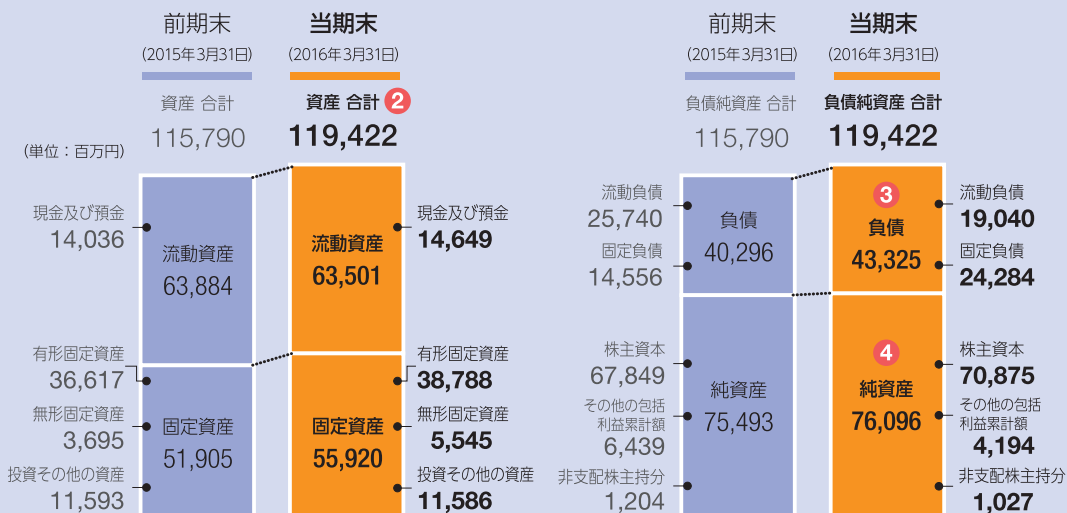
第2回無担保公募社債60億円の償還などにより、流動負債が前期末に比べ67億円減少する一方、第3回無担保公募社債100億円の発行などにより固定負債が97億28百万円増加し、負債合計は前期末に比べ30億28百万円増加しました。

Point ④

純資産 76,096百万円

配当金の支払いや自己株式の取得、為替換算調整勘定の減少はありましたが、親会社株主に帰属する当期純利益を49億15百万円計上したことなどにより、前期末に比べ6億3百万円の増加となりました。

連結貸借対照表の概要



※本報告書中の記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

東亜バルブエンジニアリング株式会社の株式取得と資本業務提携

キッツは、2016年2月、電力分野向け高温・高圧バルブの製造・販売大手で東証第二部上場の東亜バルブエンジニアリング株式会社（以下、東亜バルブエンジ）と資本業務提携契約を締結。同時に同社の普通株式を取得（発行済株式総数の11.28%）し、筆頭株主となりました。

東亜バルブエンジは、高温・高圧バルブにおける高い技術力と信頼性により、電力・発電分野における国内トップクラスのメーカーです。今回の資本業務提携により、キッツは高圧用バルブのラインナップを補完することができ、グローバル市場における高温・高圧分野への本格的な進出が可能になります。

今後は、東亜バルブエンジの強みを活かし、競争力を高めていくことによって、海外市場での事業拡大を目指します。



調印式を終え、固く握手を交わす
堀田社長と東亜バルブエンジの真鍋社長



2月12日に実施した記者会見の様子

○ 東亜バルブエンジニアリング株式会社

所在地	兵庫県尼崎市
事業内容	各種バルブ、鋳鋼製品の製造・販売、各種バルブのメンテナンス業務
資本金	1,739百万円
設立年月日	2000年3月



東亜バルブエンジの安全弁

長坂工場 LNG サテライト基地の稼働開始



長坂工場 LNG サテライト基地

2015年11月、長坂工場にLNGタンク（サテライト）の設置が完了し、2016年1月より稼働を開始しました。キッツでは、生産工程で使用する燃料をLPG（液化石油ガス）及びA重油からLNG（液化天然ガス）に転換を進めています。このLNGサテライト基地の設置は、環境省の2015年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金の対象事業として採択されました。

LNGへの燃料転換により、二酸化炭素の削減、大気汚染防止、環境リスクの低減、安全性の向上、エネルギーコストの削減等の効果が見込まれます。

長坂工場のLNGサテライト基地で使用しているバルブは、超低温用バルブをはじめ全てキッツ製であり、今後、新たに市場へ送り込む商品の実証試験のフィールドとなる他、お客様の見学施設としても活用していく予定です。

「MIRAI (ミライ)」が納車

2016年1月、キット本社に、トヨタ自動車株式会社の燃料電池車「MIRAI (ミライ)」が1台、社用車として納車されました。2014年12月の発売直後に申し込み、約1年待っての納車となりました。

キットグループは、水素供給インフラ設備に向けて、水素ステーション用超高压ボールバルブをはじめ、ニードルバルブ、チャッキバルブを加えた「KITZ CLESTEC®-Series」をラインナップしています。地球温暖化の原因とされる二酸化炭素を排出しない水素エネルギーの普及促進に向けた取り組みの一環として、この度、燃料電池車を導入しました。現在は、営業活動で有効に活用しています。今後は、これを利用したCSR活動なども検討してまいります。



本社エントランスに停車中の「MIRAI」

JR 上諏訪駅に広告看板を設置



JR 上諏訪駅3番線ホーム寄りの看板

キットは、2016年4月より、JR上諏訪駅構内に広告看板を設置しました。諏訪市は、キットの創業者である故北澤利男名誉会長の出身地です。また、グループ会社のキットマイクロフィルター及びホテル紅やが諏訪市に、キットメタルワークスとキット茅野工場が、隣接する茅野市に所在しています。諏訪湖のほとりには、キットが社会貢献活動の一環としてその活動を支援している北澤美術館もあり、諏訪地方はキットにとって縁が深いエリアと言えます。

JR上諏訪駅は、塩尻・松本方面及び諏訪地域の企業への通勤や市内外の学校への通学に多く利用されています。また、諏訪湖祭湖上花火大会や全国新作花火競技大会を始め、夏のトップシーズンには諏訪観光の入口として、大勢の観光客が利用しています。この広告看板設置が、キット及びキットグループの知名度向上の一助となることが大いに期待されます。

キットの社会貢献活動

茅野工場を災害時の避難所として提供

キットは長野県茅野市と「災害時における避難者支援に関する協定」を締結しました。自然災害の発生時には、茅野工場の食堂を市民の皆様の一時的な避難所として提供します。救援物資や飲料水、食料等は茅野市から搬入されることとなりますが、物資が届くまでの間は茅野工場で備蓄している飲料水や食料を一時的に提供する予定です。また、停電時には工場内の非常用発電機を利用し対応することとなります。

茅野工場の所在する金沢地区の既存の避難所は、いずれも土砂災害警戒区域内にあり、豪雨災害の際には避難者が土砂に巻き込まれる危険性も指摘されています。茅野工場は従来の避難所から北へ3～4km離れた高台にあることから、昨年6月に茅野市から避難所としての茅野工場の利用について打診があり、協議が進められてきました。

今後は、茅野工場を地域の避難訓練の場所としても提供する予定です。



茅野工場の食堂

会社概要 (2016年3月31日現在)

● 商号	株式会社キッツ
● 本社	千葉県千葉市美浜区中瀬一丁目10番1 TEL (043) 299-0111 (大代表)
● 代表取締役社長	堀田 康之
● 資本金	21,207,084,670円
● 設立年月日	1951年1月26日

● 工場	長坂工場 (山梨県) / 伊那工場 (長野県) / 茅野工場 (長野県)
● 営業網	札幌 / 仙台 / さいたま / 千葉 / 東京 / 横浜 / 新潟 / 富山 / 茅野 / 静岡 / 名古屋 / 大阪 / 岡山 / 広島 / 福岡
● 従業員数 (単体)	1,239名
(連結)	4,456名

グローバル ネットワーク

海外生産拠点

- KITZ (Thailand) Ltd. / タイ (サムットプラカーン)
- 台湾北澤股份有限公司 / 台湾 (高雄市)
- 北澤精密機械 (昆山) 有限公司 / 中国 (江蘇省)
- 北澤閥門 (昆山) 有限公司 / 中国 (江蘇省)
- 連雲港北澤精密閥門有限公司 / 中国 (江蘇省)
- 北澤半導体閥門 (昆山) 有限公司 / 中国 (江蘇省)
- KITZ Corporation of Europe, S.A. /
スペイン (バルセロナ)
- Perrin GmbH / ドイツ (ヘッセン州)
- Micro Pneumatics Pvt. Ltd. /
インド (マハラシュトラ州)
- Metalúrgica Golden Art's Ltda. /
ブラジル (リオグランデ・ド・スル州)

海外販売拠点

- KITZ Corporation of America / アメリカ (テキサス州)
- KITZ SCT America Corporation / アメリカ (カリフォルニア州)
- 上海開滋国際貿易有限公司 / 中国 (上海市)
- KITZ Corporation of Asia Pacific Pte. Ltd. / シンガポール
- KITZ Valve & Actuation Singapore Pte. Ltd. / シンガポール
- KITZ Valve & Actuation (Thailand) Co., Ltd. / タイ (バンコク)
- KITZ Europe GmbH / ドイツ (ヘッセン州)

駐在員事務所

- KITZ Corporation (Korea Liaison Office) / 韓国 (ソウル市)
- KITZ Corporation (India Liaison Office) / インド (ムンバイ市)
- KITZ Corporation (Dubai Liaison Office) / U.A.E. (ドバイ酋長国)

国内グループ会社

- 東洋バルブ株式会社
- 株式会社清水合金製作所
- 株式会社キッツエスシーティー
- 三吉バルブ株式会社
- ワイケイブイ株式会社
- 株式会社キッツエンジニアリングサービス
- 株式会社キッツマイクロフィルター
- 株式会社キッツメタルワークス
- 北東技研工業株式会社
- 株式会社ホテル紅や

株式の状況 (2016年3月31日現在)

● 発行可能株式総数 400,000,000 株

● 発行済株式の総数 107,215,289 株

(注) 上記の株式の総数には、当社が2016年3月31日に保有する自己株式
3,181,222 株を含んでおりません。

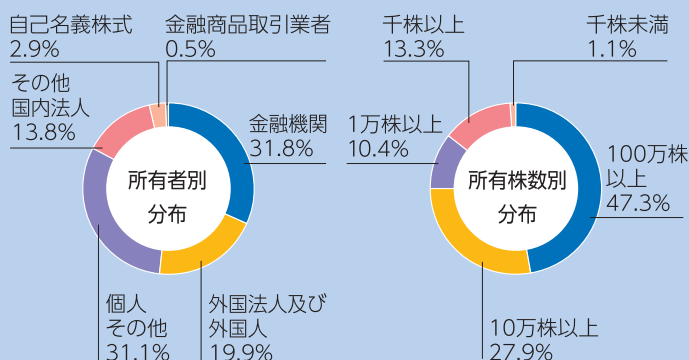
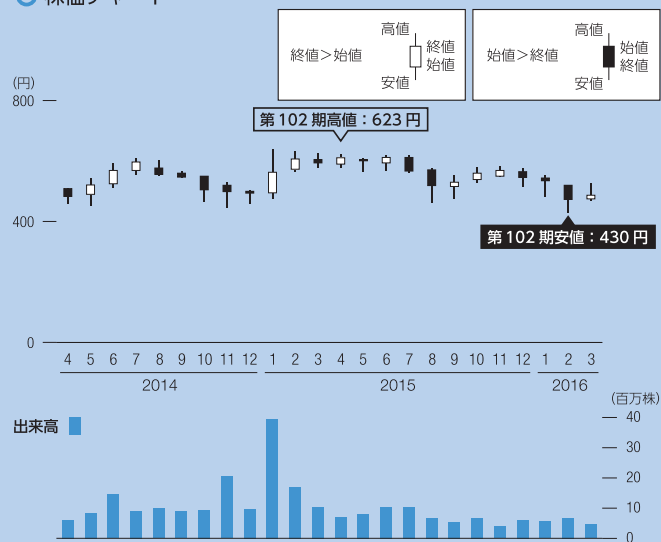
● 株主数 11,920 名

● 大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	10,317	9.62
CBNY-GOVERNMENT OF NORWAY	5,197	4.85
日本生命保険相互会社	4,359	4.07
北沢会持株会	3,979	3.71
公益財団法人北澤育英会	3,411	3.18
住友生命保険相互会社	3,353	3.13
キッツ取引先持株会	3,007	2.80
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	2,848	2.66
株式会社みずほ銀行	2,553	2.38
株式会社三井住友銀行	2,553	2.38

- (注) 1. 当社は、2016年3月31日現在、自己株式 3,181 千株を保有しており、
上記大株主から除外しております。
2. 上記の持株数には、信託業務に係る株式を次の通り含んでおります。
日本トラスティ・サービス信託銀行 (株) 10,317 千株
3. 日本生命保険 (相) の持株数には、特別勘定年金口 55 千株を含んでおります。
4. 住友生命保険 (相) の持株数には、変額口 103 千株及び特別勘定口 100
千株を含んでおります。
5. 持株比率は、発行済株式総数から自己株式 3,181,222 株を除いて計算
しております。

● 株価チャート



株主の皆様へのお知らせ

期末配当金のお支払について

2016年5月9日開催の当社取締役会におきまして、第102期の期末配当金について、以下の通り決議されております。

期末配当金：1株につき 金7円

(中間配当金として2015年12月に1株につき6円の配当を実施しておりますので、年間の配当金は1株につき13円となります)

効力発生日ならびに支払開始日：2016年6月6日(月)

同封の「第102期期末配当金領収書」により、払渡しの期間(2016年6月6日～7月7日)内に最寄りのゆうちょ銀行または郵便局でお受け取りください。また、銀行等口座振込をご指定の方には、「第102期期末配当金計算書」及び「配当金振込先のご確認について」の記載をご確認いただけますよう、お願い申し上げます。

株主の皆様のご意見が経営に反映されます

株主総会に提案された議案について、株主の皆様は賛成や反対の意思表示をしていただくことを「議決権の行使」といいます。株主の皆様には100株につき1個の議決権をご所有いただき、株主様がこの権利を行使することにより、当社の経営に参画していただくこととなります。議決権を行使いただくには、以下の3つの方法がございます。

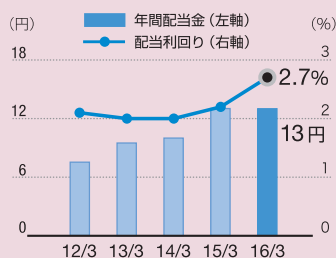
- ① 株主総会に出席し、提案された議案に対する賛否を表明する。
- ② 「議決権行使書用紙」に各議案に対する賛否を表示のうえ、返信する。
- ③ 「議決権行使サイト」(<http://www.evotep.jp/>)にアクセスし、賛否を入力する。

配当方針

キッツは、配当金を株主の皆様への利益還元として経営上の重要課題と位置づけています。当面の業績動向に加え、今後の事業拡大のための設備投資、開発投資、あるいはM&Aなどの資金に加え、借入金返済、社債償還のための資金ニーズにも対応すべく内部留保の充実を図りつつ、配当の継続性、安定性にも十分留意し実施したいと考えています。

配当性向につきましては、上記の趣旨を勘案し、親会社株主に帰属する当期純利益の25%前後を望ましい水準と考えています。また、利益配分の目標として自己株式の取得を含めた総還元性向につきましては、親会社株主に帰属する当期純利益の3分の1前後を目指し、2014年度及び2015年度において、それぞれ100万株の自己株式の取得を行いました。

なお、この度の第3期中期経営計画の策定にあたり、連結総還元性向の目標を従来の3分の1前後から、自己株式の取得にさらに積極的に取り組むこととし、株主価値のより一層の向上に努めてまいります。



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	6月
基準日	定時株主総会議決権 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日 そのほか必要ある場合は、あらかじめ公告いたします。
公告掲載方法	電子公告 ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 公告掲載URL(http://www.kitz.co.jp/)
単元株式数	100株

株主優待のご案内

キッツは、株主の皆様からのご支援に感謝するとともに、キッツグループに対するご理解をさらに深めていただくことを目的に株主優待制度を実施しております。この度、当社株式を長期にわたり保有していただいている株主様にさらなる感謝の意を表するとともに、引き続きご支援いただきたいという思いから、優待内容を変更することといたしました。

3月末現在、1,000株以上ご所有の株主様

- 「株主様ご優待案内」冊子 ※6月下旬の発送
 - ホテル紅や宿泊割引券、稀石の癒(ホテル紅や別館) 優待券
 - 高性能浄水器・各種交換カートリッジの割引販売
 - 北澤美術館招待券

オリジナルフオカード ※6月下旬の発送

(保有株数)	(優待内容)
1,000株以上	1,000円券1枚
2,000株以上	2,000円券1枚
3,000株以上	3,000円券1枚

フオカードは、コンビニエンスストア、ガソリンスタンド、ファミリーレストランなど、全国約55,000の加盟店で利用可能な、現在、最も汎用性の高いプリペイドカードです。

●北澤美術館 ガラスカレンダー (大判) 1部*1

<長期保有株主優待> 新設

3月末現在、5年以上*2かつ1,000株以上ご所有の株主様につきましては、上記に加え、次より1点お選びいただけます。

1. 北澤美術館 日本画カレンダー (大判) 1部*1
2. 北澤美術館 日本画カレンダー (卓上サイズ) 1部*1
3. 平成28年熊本地震の被災地復興支援に対する寄付 1,000円

6月下旬に「申込専用はがき」をお送りいたしますので、8月31日までにご返信くださいますようお願いいたします。なお、期限内にご返信がない場合には、日本画カレンダー(大判)1部をお送りいたします。

9月末現在、1,000株以上ご所有の新規の株主様*3

●北澤美術館 ガラスカレンダー (大判) 1部*1

*1 カレンダーはすべて12月上旬の発送となります。

*2 5年以上とは、2011年3月31日から2016年3月31日までのすべての基準日(3月31日、9月30日)において、同一株主番号で当社株式を保有されていることを指します。

*3 2016年3月末の基準日に異なる株主番号で、1,000株以上保有されていた株主様は除きます。

株主名簿管理人

特別口座の
口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
電話 0120-232-711(通話料無料)

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に登録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り扱いいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。